

単位制による定時制 普通科（県立横浜明朋高等学校及び県立相模向陽館高等学校）

学校名	学科名等	学力検査	特色検査	選考方法	提出書類
横浜明朋	単位制普通科 午前部	英国数	—	①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「関心・意欲・態度」の評価をA=6点、B=4点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=9点、B=6点として点数化し合計する。(K=135点満点) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=30点満点に換算する。) ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=60点満点)	面接の評価の観点
	単位制普通科 午後部				【第1次選考】 次の式から算出した数値をS1値とし、S1値の高い者から募集人員の90%まで総合的に選考する。 $S1(225点満点) = K + G + M$ 【第2次選考】 次の式から算出した数値をS2値とし、S2値の高い者から募集人員まで総合的に選考する。 $S2(120点満点) = G \times 2 + M$
相模向陽館	単位制普通科 午前部	英国数	自己表現	①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「関心・意欲・態度」と第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=2点、B=1点として点数化し合計する。(K=20点満点に換算する。) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=30点満点に換算する。) ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=50点満点) ※課題レポートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。 ④自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=20点満点)	面接の評価の観点
	単位制普通科 午後部				【第1段階の選考】 募集人員の30%まで 次の式から算出した数値をS1値とし、S1値の上位の者から合格者を決定する。 $S1(120点満点) = K + G + M + T$ 【第2段階の選考】 募集人員の30%まで 次の式から算出した数値をS2値とし、第1段階で合格となっていない者を対象にS2値の上位の者から合格者を決定する。 $S2(100点満点) = G + M + T$ 【第3段階の選考】 残りの募集人員まで 次の式から算出した数値をS3値とし、第1段階及び第2段階で合格となっていない者を対象にS3値の上位の者から合格者を決定する。 $S3(70点満点) = M + T$
					自己表現検査の評価の観点
					・学校の特色等の理解 ・伝達・表現する力
					面接シート
					課題レポート